

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

知多市立知多中学校

【取組内容】Google チャットを用いた研修内容の共有

- 研修で得た情報をチャットにて、即座に職員全員に共有している。
→研修等で得た情報を、研修等に参加していない職員に伝達する場となっている。

12月26日 13:25

今求められている学び→自律的に探求できる子ども
先生はいつまでも生徒の横にいるわけではない
自分で学ぶ力を身につけさせることが課題
そのために1人一台端末がある→デジタル基盤での学習が今後進められる
自分で情報(知識)を集めることができる

12月26日 13:29 - 編集済み

個別最適な学びの実現に必要なこと

- ①児童が学習過程を理解していること
- ②学習過程のうち、選択できる範囲を増やしていく
- ③個別最適に友達の学び方を学ぶ、先生は支援が必要な子を見つけて支援していく

12月26日 13:34

②の補足
子どもは学習方法(情報収集)の方法をいくつか知っているのか?
教科書を読む、ネットを調べる、先生友達に聞く、教材動画を見るなど
子どもはそれが分かっているため、教える必要がある

12月26日 13:36

②の補足 その2
子どもは情報整理する方法は知っているのか?
比べる、順序づける、関連付けるなど

12月26日 13:40

自分のペースでスピーキングの練習をする生徒

先生と練習

友達と練習

PCで練習

友達と練習

12月26日 11:16

発信
OUTPUT
処理
INPUT
事実 事実 事実

学習活動から得た情報を整理し、自分のペースでスピーキングの練習をする生徒

学習活動から得た情報を整理し、自分のペースでスピーキングの練習をする生徒

学習活動から得た情報を整理し、自分のペースでスピーキングの練習をする生徒